

帝国製鉄株式会社

日 2020年9月14日

人 代表取締役社長鈴木典和氏 担当部長新栄樹氏

1. 創業・歴史

創業：1917年鉄道省の指定工場として発足。レール用犬くぎ、加熱鋸螺業トップメーカーであった。

- ・1950年代 米軍特需もあり軍需関係、繊維機械や電気機械などにも進出
- ・1954年 朝鮮戦争停戦の影響を受け受注減少、鉄道部門の企業として、再発足
- ・1965年、住友金属小倉製鉄所の材料供給を受けOEMでハイテンションボルト製造
- ・1990年代、ハイテンションボルトに代わる製品として大径ボルトの製造開始 主に造船関係に納入。

ISO9001-を取得し品質管理の充実を図る

2. 企業概要

資本金：6000万円

従業員数:68人

年商：約17億円（2019年）・・・コロナの影響は今のところない

3. 主要製品・顧客

売上の60%強はJRなど鉄道関連：レール締結部品では国内シェア6割。20%が土木・インフラ・機械設備用の高張力ボルト類。

海外での鉄道インフラ整備については、鉄道関係ゼネコン経由が主。EX 台湾新幹線

4. 独自技術、企業の特徴

- ・最近ではメーカー提案を受けて鉄道技術研究所で実験してくれるようになった。
- ・現在犬くぎを生産しているのは当社がほぼ寡占状態である。
- ・ボルトの熱間圧延鍛造と冷間圧延の両方を手掛けている企業は国内で数社
- ・材料調達から最終工程の熱処理まで一貫して製造可能な製造ラインを備えている。

5. OWO とのかかわり

参加のきっかけ・・・チタン協会のSDC田中の田中氏の誘い。

通常取引関連では得られない色々な人、企業に出会える。

6. 航空機部品産業への取り組み

SDC 田中の依頼で純チタン6角ボルトの生産に取り組んだ。温度管理のトレースが難しい航空機用のチタン合金の鍛造が可能なプレス機械は、日本に当社の1台しかない。

ねじ切りや熱処理、表面処理は他社が受け持つ＝協働、SDC田中がまとめ役

7. OWO への期待・要望

行政や企業への窓口的役割を果たしてほしい。

同業者・異業者間での交流会を実施して欲しい。

8. 今後の課題 軽量且つ高強度分野への参入への人材の育成